

教科名（ 保健体育 科 ）

（ 3 ） 学年対象

科目名（ 体 育 ）

学 習 指 導 案

1 育成する能力

- | |
|--|
| (1) 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解する。 |
| (2) 作戦に応じた技能で仲間と連携し、ゲームを展開できるようにする。 |

2 取り上げる題材・単元

大修館書店 改訂版 現代高等保健体育 球技 「ネット型」 バレーボール
--

3 学習活動における具体的な評価規準

知 識 ・ 技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現	主体的に学習に取り組む態度
状況に応じたボール操作や連携した動きによって攻防を展開する。	チームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝える。	一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にし、互いに助け合い高め合おうとすることができる。

4 学習活動の展開案と評価規準

時 間	学 習 活 動	評 価 規 準
1	オリエンテーション ・支柱の立て方やネットの張り方等を知る。 ・バレーボールの特性を知る。	・自己の役割を理解し取り組むことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】
2～6	基本的技能の習得 ・パス、サーブ、スパイク等の基本的技能を身に付ける。 ・個人の課題に応じた練習方法を考え、積極的に取り組む。 ボールを捉える位置やフォームは適切か。	・狙ったところにボールをコントロールすることができる。 【知識・技能】 ・自己の課題を見つけ、解決に向けて取り組むことができる。 【思考・判断・表現】
7～13	発展的技能の習得 ・ゲームを通じて、チームの課題を見つける。 ・ラリーを継続するためのポイントや練習方法を知って取り組む。 ・仲間と協力し、質の高いゲームを目指して意欲的に取り組む。 仲間やボールの動きを予測できているか。	・移動を伴うつなぎのボールに対応し、安定したボール操作を行うことができる。 【知識・技能】 ・課題を意識してチームで取り組むことができたか。 【思考・判断・表現】 ・試合を通じて互いに良いところを認め合うことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】
14～16	審判法 ・審判法を理解し、ゲームを運営する。	・審判法を理解し、より深く種目の特性を理解する。 【知識・理解】